

平成 27 年度第 1 回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成 27 年 7 月 22 日（水） パレス神戸 中会議室		
委員	泉水 文雄（神戸大学大学院法学研究科教授） 小西 庸夫（元兵庫県代表監査委員） 池田 千鶴（神戸大学大学院法学研究科教授） 大搦 幸男（弁護士） 東 恭子（公認会計士）		
対象期間	平成 26 年 12 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		
事務局報告	平成 26 年度第 4 回委員会の議事概要		
議案 1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
対象工事※件数	981 件	対象期間中の指名停止件数	8 件
対象工事の契約金額合計	48,412,149 千円	対象期間中の資格制限件数	1 件
対象工事の平均落札率	89.5%	※対象期間中に契約締結した契約予定金額 250 万円超の工事	
議案 2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出案件	総数	5 件	
うち	一般競争入札	0 件	
	公募型一般競争入札	2 件	
	制限付き一般競争入札	2 件	
	指名競争入札	1 件	
	随意契約	0 件	
委員からの質問・意見 それに対する回答等	質問・意見	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	無し		

別紙

議題	質問・意見	回答
<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>事務局報告 平成26年度第4回委員会の議事概要について</p> <p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 平成26年12月1日から平成27年3月31日までの入札・契約状況 ・指名競争の「灘警察署庁舎耐震補強その他昇降機設備工事」において、大手企業が失格しているが、予定価格や最低制限価格はどのように算出したのか。</p> <p>抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議 公募型一般競争入札： 県土整備部契約管理課（営繕課）発注 「小野警察署（仮称）車庫・道場棟建築工事」</p> <p>・本件は、最終的には、1者による見積り合わせにより契約しているが、これに至る経緯が分からない。</p> <p>・契約上は、当初の計画より工期が2か月短くなっているが、対応できるのか。</p> <p>北播磨県民局（光都土木事務所）発注 「粟田橋上部工事」 ・総合評価案件であるが、評価方法はどのようなものか。</p> <p>・本件は、低入札価格調査制度が適用されているが、調査基準価格と調査最低制限価格の2つの基準はどういうものか。</p> <p>制限付き一般競争入札： 西播磨県民局（龍野土木事務所）発注 「成岡橋橋梁補修工事」 ・資格要件で、本件工事に係る設計業務等の受託者を除外している理由は何か。</p> <p>・辞退者が多い理由は何か。</p>	<p>・一般的には、予定価格の積算単価については、物価本に掲載のないものであれば、業者から参考見積りを取って積算する。 また、最低制限価格については、直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費を基に算出している。詳細については、担当課から次回改めて説明する。</p> <p>・当初、制限付き一般競争入札を行ったが、落札候補者が資格審査の段階で入札無効であることが判明し、他者も予定価格超過のため不落となった。2回目についても同様に不落となったため、3回目は公募型一般競争入札に切り替えたが、同様に不落となった。 このため、本体の庁舎の施工業者でもある本件業者と、直接、見積り合わせにより随意契約をすることとなった。</p> <p>・本体の庁舎の工期が延長されるので、これに合わせて本件の工期も延長する予定にしている。</p> <p>・この案件は「施工計画評価型」であり、現場特有の提案を3つ提出させ、それぞれを5点とし、15点満点で評価する。</p> <p>・調査基準価格は低入札価格調査を実施する基準であり、調査最低制限価格は調査をするまでもなく失格とする基準である。</p> <p>・設計業務等の受託者については、当該業務を通じて本件工事の内容を知っているため、公平性の観点から、除外している。</p> <p>・設計図書等を確認し、現場の状況等を考慮し、判断した結果だと思われる。 具体的には、規模の小さい橋梁に多くの工種が含まれており、河川での仮設工事も多く、また、冬場の施工である等から、敬遠されたのではないかと。</p>

<p>(4)</p> <p>(5)</p>	<p>但馬県民局（新温泉土木事務所）発注 「(国) 178号他 地域道路維持修繕工事（その1）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域道路維持修繕工事については、全7件発注されており、予定価格に大小あるが、距離の差か。 ・入札では、結果として1JVしか参加していないのはなぜか。 <p>指名競争入札：</p> <p>淡路県民局（洲本土木事務所）発注 「三原川水系 大日川 大日ダム管理設備更新工事（その1）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞退者が多いが、パソコン等の汎用品を使うとしても、既存業者が有利になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・距離だけではなく、除雪や緊急小規模工事等の規模の大きな工種をまとめる案件か、側溝清掃や除草、安全施設復旧等の規模の小さな工種をまとめる案件かの違いであり、業者のランクに応じてそれぞれを発注している。 ・複数のJVが競争することが望ましいが、旧町の単位や業者の数、規模等の地域性があり、業者が他の地域に進出することは難しいのではないかとの印象を持っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・無線の中継所や多重無線設備、テレメータ放流警報設備等、機器の設置場所が多く、広範囲にシステム全体が構成されているため、これを熟知している既存業者が有利になると考えられる。 ・パソコン等の汎用品についてはハードの部分であり、プログラムは別である。
<p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はなかった旨、事務局から報告した。 		